

私は、銀座から宿泊治療を受けるために大阪へ来ました。銀座で「大阪で楽しんでください。」と見送られ、「私は大阪に治療に行くのに」。 「楽しんで」と言われる理由がわかりませんでした。

大阪で治療を受けながら その言葉の意味が分かりました。ここでの治療はあくまでも補助的な役割であり病気を治すのは本人である。大阪での治療は人間には自然治癒力が備わっているから その自然治癒力のお手伝いをするのだと。

本人の気持ちが一番大切だと考え、気持ちがいつも明るい気持ちでいること そのためにたくさん笑うことを進めている。難病は、気持ちが沈みがちになることが多いので、「笑い」はそんな気持ちを吹き飛ばしてくれました。笑うことにより気持ちが明るくなり、プラス嗜好に変換しようとする自分がいることに気付きました。

大阪の人は笑いをとても身近なものとして考えているんだなあ。と感じ、笑いは、本当に万能の薬だと思いました。大阪での治療は本当に楽しかったです。難病の私をポジティブ嗜好にかえてくれました。

笑いは幸福だからではない。笑うから幸福なのだということです。

その効果を知った上で 皆さんも大きな声を出して笑ってみませんか。

**「ワッハッハー！！！！」 最後は笑顔で。**

私が 今回の大阪の治療に来て良かったことです。

三浦淳子

お部屋とお風呂場に鏡が欲しいです。できれば姿見があればいいと思います。自分で健康状態を見られるからです。

足の悪い人は その都度 スリッパ人履き替えるのは難しいです。各部屋の入り口の中にも捕まるバーがあると安心です。

コンセントの延長コードは必須です。

